



上石小だより

～ やさしさ かしこさ たくましさ ～

第 7 号
平成 29 年 11 月 2 日
練馬区立上石神井小学校
校長 井口 洋

平成 29 年度「全国学力・学習状況調査」「都体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」について

副校長 中山 幸子

4 月に 6 年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が行われました。この調査は、国語と算数について問題 A と B に分かれており A は基礎的・基本的な知識、技能の力を問う問題で、B は基礎的・基本的な知識や技能を生かして解く力、対応力、問題解決能力を問う問題です。この 4 つの学力調査と、生活習慣や学習環境などについての児童への質問（85 項目）から成っています。

本校の結果は、4 つの学力調査全てが全国の平均正答率を上回っていました。また、東京都との比較では、[算数 A] の平均正答率が同率でしたが、その他はすべて東京都及び全国を（国語 A では東京都より 2.0 全国より 4.5、国語 B では東京都より 2.0 全国より 4.5、算数 A では全国より 2.4、算数 B では東京都より 5.0 全国より 8.1 ポイント）上回っていました。しかし、授業内容の理解、学習内容の定着につながる「家で学校の授業の予習をしていますか」「家で学校の授業の復習をしますか」では全国及び東京都と比較して肯定的な回答が 1.0～6.8 ポイント下回っていました。予習・復習の習慣化を進めるとさらに基礎的・基本的な知識、技能の向上とそれらを生かした対応力、問題解決能力の向上が期待されます。そのため、御家庭との連携をさらに深めて参ります。また、「普段（月～金）、1 日どれくらいの時間、読書をしますか」では、全国及び東京都より肯定的な回答が 4.3～5.7 ポイント上回っています。これは継続して実施している読書ボランティアによる読み聞かせ、読書旬間の取組、朝読書等の成果と捉えております。

調査の目的は、調査を通して学習上の課題を把握し、授業改善や授業力の向上のために活用して、児童の学力向上を図ることです。よりよい授業の実現と児童の学力向上に向けてさらに努力して参ります。

なお、詳細については後日、報告いたします。

「東京都児童・生徒体力運動能力、生活・運動習慣等調査」から（平成 29 年 10 月暫定値）

	1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		6 年	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
上 小	26.2	26.1	34.2	36.9	44.2	41.1	48.7	52.6	54.0	56.0	58.8	63.2
練馬区	29.0	29.0	36.8	37.0	43.5	43.8	48.9	50.0	54.7	55.9	59.9	61.5
東京都	29.6	29.5	37.2	37.4	43.5	43.9	49.2	50.2	54.7	56.3	60.2	61.4
全 国	30.4	30.2	37.9	37.8	44.8	44.4	50.3	50.9	55.6	57.1	61.5	62.1

体力テストは 6 月初旬に行われました。実施種目は、「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「反復横跳び」「20m シャトルラン」「50m 走」「立ち幅跳び」「ソフトボール投げ」の 8 種目です。上の表は、8 種目を得点化しそれを合計した数値です。数値が大きいほど総合的な体力があることとなります。表から分かるように残念ながら「4 女子、6 年女子以外は、全国及び東京都、練馬区を下回っている。」という結果です。本校では「反復横跳び」「立ち幅跳び」「20m シャトルラン」の得点が低い傾向が見られました。

しかし、2 学年～6 学年の得点を昨年度と比較すると全ての学年で増加している点や、今年度と昨年度の 2 学年～6 学年の得点比較では、2 年女子、3 年男子、4 年男女、5 年男女、6 年女子で増加している点から、昨年度からの体力向上に向けた取組の成果が見え始めていると考えられます。今後も本調査の結果を体育授業の改善に生かして参ります。こちらの詳細についても、後日、報告いたします。

11 月行事予定

- | | |
|---|---------------------------------------|
| 1 (水) 開校記念日 (休業日) | 20 (月) 委員会 |
| 6 (月) クラブ 小中合同挨拶運動始 | 21 (火) クリーン活動 (1・6 年) |
| 7 (火) 5 時間授業 | 24 (金) 展覧会 |
| 8 (水) 就学時健診 4 時間授業 下校 12:45 | 25 (土) 展覧会【木曜時間割 5 時間】
学校公開 (4 時間) |
| 9 (木) たてわり給食・遊び | 27 (月) 振替休業日 |
| 10 (金) 避難訓練(煙体体験 5 年)
上小フェスティバル計画・準備(3～6 年)
小中合同挨拶運動終 | 29 (水) 4 時間授業 C 時程 下校 12:45 |
| 11 (土) 学校公開 上小フェスティバル | 30 (木) 個人面談 5 時間授業 B 時程 |
| 13 (月) 4 時間授業 4 年 3 組のみ研究授業のため 5 時間
授業 | 12 月行事予定 |
| 14 (火) クリーン活動 (3・4 年) | 1 (金) 個人面談 5 時間授業 B 時程 |
| 15 (水) 4 時間授業 展覧会準備(6 年 5 校時) | 4 (月) 個人面談 5 時間授業 B 時程 |
| 16 (木) 5 時間授業 | 5 (火) 個人面談 5 時間授業 B 時程 |
| 17 (金) クリーン活動 (2・5 年) | 6 (水) 個人面談 4 時間授業 |
| | 7 (木) 個人面談 5 時間授業 B 時程 |
| | 8 (金) 5 時間授業 |
| | 9 (土)【月曜時間割 4 時間】租税教室(6 年) |

「たてわり活動」について

特別活動委員会

上石神井小学校のたてわり活動は、20年前から始まって今日まで続いている伝統の活動です。活動が始まったきっかけは、集団登校以外でも異学年での交流をもちたいという、上石神井小の先輩たちの思いからだそうです。

今でもその思いは受け継がれています。各クラスに集まった、たてわりグループ。6年生が中心となって給食の準備が始まります。5年生が給食当番、4年生が配膳です。6年生は給食から遊びまでの予定を黒板に書いたり、全体の様子を見たり、給食時にはみんなが楽しく給食を食べられるような工夫をしたり、遊びを仕切ったりと、リーダーとしてたくさん動いています。5年生は配膳をしながら各学年の食べられる量を考えながらよそっています。また、遊びの前には給食の片付けを大変素早くしてくれるので、気持ちよく遊びが始められます。4年生は1年生から順番に配膳をしてくれます。みんなで声をかけながら「あと〇人だよ」など協力する姿勢が見られます。1、2、3年生はそんな上級生の姿を見て、たてわりの進み方を学んでいます。

遊びの際には特に異学年交流の良さが表れます。上級生は下級生が楽しく遊んでいるか気にかけながら、下級生は上級生の足の速さや俊敏さを肌で感じながら、憧れを抱きます。

普段は異学年で遊ぶことは少ないですが、異学年で交流することにはたくさんの良さがつまっていると感じています。上石神井小の先輩たちの思いが詰まったたてわり活動。異学年交流を通して心の豊かさが育っていくことを願っています。

ふれあい相談室から

相談室は、みなさんが充実した学校生活を送れるようお手伝いをするためにあります。困っていることなどがあれば、気軽に利用してください。相談室の場所は、南校舎の3階パソコン室の隣にあります。相談室日より、相談室の開いている日をお知らせしています。相談できる時間については、中休み、昼休み、放課後（放課後は保護者と先生の許可が必要です）ができます。予約の取り方は、担任の先生または直接相談員から申し込むことができます。本年度はスクールカウンセラー山本と心のふれあい相談員の河野が担当しています。どうぞよろしく願いいたします。相談室では保護者の皆様からも相談を受け付けております。お子様によりよい学校生活を送って頂くためにも、学校生活や学習、家庭での様子等、気がかりなことがございましたら気軽に相談室を御活用ください。お電話での相談もお受けしております。来室予約を取って頂けますと、ゆっくりとお話することができます。職員室（副校長）、保健室又は担任の先生を通じてのお申し込みも受け付けております。

自己紹介

<スクールカウンセラー>

山本佳奈（やまもと かな） 臨床心理士 主に保護者の方の御相談や生徒さんの相談を担当させて頂きます。必要に応じて専門機関との連携や医療機関の紹介なども行います。どうぞよろしく願い致します。

<心のふれあい相談員>

河野晴子（こうのはるこ） 全日本カウンセリング協議会2級カウンセラー 月・木曜日に勤務しております。主に児童の相談を担当しておりますが、保護者の皆様のお話も聴かせていただきます。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

11月の生活目標 友だちと力を合わせよう

11月の生活目標は「友だちと力を合わせよう」です。「力を合わせる」とは、展覧会を意識しての目標でもあります。みんなが力を合わせて素晴らしい作品を作り上げることができるよう願っています。さて、素晴らしい展覧会にするためには、学級学年の一人一人が互いのことを思いやり、認め合う心が大切です。友達の良いところをたくさん見つけられるよう、言葉掛けをしていきます。

また、11月は東京都全体で取り組む「ふれあい月間」です。この「ふれあい月間」を通じて、学校がよりよい方向に向かえるよう取り組んでいきたいと思っております。御家庭でも話題にいただければ幸いです。